

## おぼえよう 四字熟語

四字熟語は数多くありますが、そのなかで中学受験向けにおもなものを集めています。

悪戦苦闘

死にもぐるいの苦しい戦いのこと。また、困難に打ち勝とうと努力すること。

悪口雑言

さまざまに悪口を言うこと。

意気投合

おたがいの気持ちがあたり合つこと。

異口同音

多くの人が同じことを言うこと。

一期一会

生涯一度きりであること。

以心伝心

口に出して言わなくても、無言のうちにおたがいの心が通じること。

一言半句

わずかな言葉のこと。

一日千秋

ひじょうに待ちどおしいこと。

一意専心

わき目もふらず一生懸命に。

一部始終

はじめからおわりまで。

一望千里

見わたすかぎりひろびろとついていること。

一網打尽

悪人をひとり残らず捕らえつくすこと。

一挙両得

一つのことをして同時に二つの利益を得ること。

一心同体

一つのことに関心を集めること。

一石二鳥

一つの行動で二つのよい成果を得ること。

一朝一夕

短い時間。わずかな日時。

一喜一憂

まわりのようすが変わるたびに喜んだり悲しんだりすること。

一進一退

よくなったり悪くなったりすること。

一長一短

よいところもあるが、悪いところもあること。

意味深長

表面上の意味のほかに、別の意味がふくまれていること。

因果応報

自分の行いに応じたむくいがあること。

右往左往

うろたえてまごつくこと。

雲散霧消

あとかたもなく消えること。

永久不変

いつまでも変わらないこと。

得手勝手

他人の迷惑などはかまわず、自分勝手ばかり考えて行動するよ

しず。

温故知新

むかしのことをよく調べ、新しいことに適応する知識・方法を

得ること。

音信不通

連絡がとれないこと。

我田引水

自分の都合のよいように考えたり事を進めたりすること。

外柔内剛

見かけはやさしそうだが、心の中は強くしつかりしていること。

完全無欠

完全に少しも欠点や不足がないこと。

危機一髪

ひとつまちがえば危険になるきわどい状態。

危機存亡

生命がおよびやかされ、そのものがあやつくなるおそれが感じら

れる状態。

起死回生

死にそうなところを生き返らせること。

起承転結

文章や物事の組み立てや順序のこと。

喜怒哀楽

人間のいろいろな感情のこと。

金科玉条

それを守ることで、だれにも自分の立場を正当化できるよりど

いん。

空前絶後

今までに一度もなく、これからも起こらないと思われる、ごく

まれなこと。

五里霧中

どうしたらよいかわからなくなること。

言語道断

あきれて言葉が出ないほど、ひどいこと。

公平無私 公正無私  
公明正大 公正無私  
小春日和 公正無私  
再三再四 公正無私  
三寒四温 公正無私  
三々五々 公正無私  
三拝九拜 公正無私  
四苦八苦 公正無私  
質実剛健 公正無私  
自画自賛 公正無私  
自給自足 公正無私  
自業自得 公正無私  
自問自答 公正無私  
七転八倒 公正無私  
弱肉強食 公正無私  
首尾一貫 公正無私  
十人十色 公正無私  
枝葉末節 公正無私  
上意下達 公正無私  
支離滅裂 公正無私  
縦横無尽 公正無私  
取捨選択 公正無私  
終始一貫 公正無私

私心がなく、かたよらないこと。

正しく、かくしていることがなくて立派なこと。

冬のはじめのころの暖かい天気のこと。

あきらめずに何回となく、熱意をもってはたらきかけること。

三日間ぐらい寒さが続いて四日間ぐらい温かい日が続く、これがくり返される天候のこと。

同じようなことをする人があちこちに三人五人といること。

何度も人に頭を下げて頼むこと。

たいへん苦しむこと。また、その苦しみ。

飾り気がなくまじめで、心身ともに強くたくましいこと。

自分のしたことを自分でほめること。

必要な物を自分で作って生活すること。

自分のした悪い行いがむくいとなって、自分に返ってくること。

自分でたずね自分で答えること。

転げ回って苦しみもだえること。

強いものが弱いものをおさえつけて栄えること。

はじめからおわりまで一つの方針でやり通すこと。

好みや考えは人によってそれぞれちがうということ。

どうでもいいつまらないこと。

上の者の意志や命令が下の者によく伝わること。

ばらばらで筋道がたたないこと。

思い通り。思うぞんぶん。

いくつがある中から選んで、よいものを取り、悪いものを捨て  
ぬこと。

はじめからおわりまで同じ考え、態度、やり方でおすこと。

針小棒大

小さいことをおおげさに言うこと。

心機一転

あることがきっかけで、気持ちをよい方向へ変えること。

人事不省

意識がなくなること。

晴耕雨読

晴れた日は耕作し、雨の日は読書すること。また、のんびりと

きままに生活すること。

青天白日

よく晴れわたった天気。また、疑われるところがまったく

ないこと。

絶体絶命

どうしてものがれられない困難な立場にあること。

前代未聞

これまでに聞いたことのないこと。

千変万化

いろいろさまざまに変わること。

千差万別

さまざまにちがいがあること。

千載一遇

またとないチャンスのこと。

創意工夫

新しい考えや新しいものを作り出すこと。

大器晩成

すぐれた人は若いころはあまりめだたないが、年をとるにつれ

てしだいに立派になること。

大同小異

全体としてはほぼ同じで、たいしてちがいがいないこと。

多種多様

いろいろさまざまなこと。

单刀直入

前置きの言葉をばぐいて、いきなり話の中心にはいること。

適材適所

しかるべき才能を持った人をしかるべき場所につけること。

電光石火

ひじょうに短い時間や、行動がすばやく行われることのとえ。

天変地異

暴風や洪水などの自然の異変のこと。

南船北馬

あちらこちらを旅行すること。

二束三文

ひどく安い値段のこと。

日進月歩

たえまなく進歩すること。

破顔一笑

につこり笑うこと。

八方美人  
ばっほうびじん

だからもきらわれないように要領よくつき合う人。

馬耳東風  
ばじとうふう

人の意見を心にとめず、聞き流すこと。また、何を言っても反

応がないこと。

半死半生  
はんしはんせい

いまにも死にそうなこと。

半信半疑  
はんしんはんぎ

本当かどうか全部は信用できないこと。

美辞麗句  
びじれいく

表面だけを美しくかざった言葉、文句。

不言実行  
ふげんじつこう

だまってあれこれ言わずに、やるべきこと実行すること。

付和雷同  
ふわらいどう

自分でははつきり考えをもたないで、人の意見にわけもなく賛

成すること。

平身低頭  
へいしんていとう

からだをかがめ、頭を地につけるくらい恐れいること。また、

そのよつにあやまること。

暴飲暴食  
ばういんばうしょく

度をこして飲んだり食べたりすること。

本末転倒  
ほんまつてんたう

大切なこととそうでないことを混同すること。

無我夢中  
むがむちゅう

ものごとに夢中になり、自分を忘れること。

有名無実  
ゆうめいむじつ

名前だけで中身のないこと。

有害無益  
ゆうがいむえき

害ばかりで、なんの利益もないこと。

優柔不断  
ゆうじゆうふだん

なかなか考えの決められないこと。決断力のないこと。

油断大敵  
ゆだんたいてき

不注意は失敗のもと。

用意周到  
よういしゅうたう

用意が十分で落ち度がないこと。

利害得失  
りがいとくしつ

利益と損失のこと。

理路整然  
りろせいぜん

物事や話の道すがら正しく、ととのっていること。

臨機応変  
りんきおうへん

なにかあったその時々、いちばんふさわしいやり方をするこ

と。

老若男女  
らうじやくなんにょ

老人も若者も男も女も、みなということ。